



## 2024年度 香川民医連 第1回医師団会議が開催されました 医師25名、県連・法人・事業所幹部など42 名が参加し長期計画の進捗状況などを論議！

昨日、8月29日(木)、ハイブリッドで2024年度第1回香川民医連医師団会議が開催されました。

今回の医師団会議の議題は①「香川医療生協長期計画」進捗状況の論議 ②医学生対策の前進をどうつくるか ③医師政策とみき診療所人事 ④SDH症例報告 ⑤研修医・専攻医の研修報告です。まず前半では、2025年までの、香川医療生協5か年計画の進捗状況について福永事業部長が報告。続いて医療コンサルタント(SHIP HEALTH CARE Research & Consulting)より現時点での構想策定にあたっての分析、市場環境、資金計画概要、スケジュールなどが提示されました。平和病院の現在の高い病床稼働率、均衡状況の医療利益の中で伸びしろとして、健診・予防医療、在宅医療、総合力を活かした「急・回復期医療」、緩和ケア・小児医療の強化などを通して、全体として『小回りの利く優しい医療』を地域の要求にマッチするよう展開していくかが課題として提起されました。参加した医師からは「伸びしろの問題として課題になるのはマンパワーの問題」「在宅の問題では、医師だけでなく、訪看・訪問リハ・老健などの在り方を総合的に考えることが必要」「職員・組合員の思いや力をどう結集させていくか、その中で一人一人の医師の役割をどう位置付けるのかの議論がこれから必要」など活発な質疑が交わされ、25卒以降 香川民医連の医師奨学生がゼロとなる状況を打開するためのポイントが佐藤医学士委員長から提起されました。続いて、北原紀子医師からのSDH症例報告、伊藤遥医師の研修報告、木村和俊医師の専攻医研修報告が行われました。

今回の討議の内容を長計実現と医師の確保と養成に反映するとともに、次回の医師団会議にむけて共有した課題をみんなで前進させることを確認しました。

## 8月末1次メ切的署名 提出お急ぎ下さい



- ① 郷土かがわを戦場にするな「特定利用港湾の指定受け入れの撤回を求める署名」
- ② 看護学校に行くのは贅沢？「熊本世帯分離裁判」署名

まだ、事業所、職場でお手元にございましたら明日までに届けて下さい。

●なお、医療生協の支部発信「ギャンブル場に子ども達成や青少年の施設を持ち込むな署名」も8月末がメ切的となっていますのでよろしくお願いたします。【県連まで】